

近藤正一著

圖解  
投入盆盛花十二ヶ月

東京博文館藏版

萬

稼

母

之

予

指

東

揮

僅

旅

山

人

時

光

後

床

之

貽

之

主

也近麻糬近墨投入墨

吉宗說書

精宗室

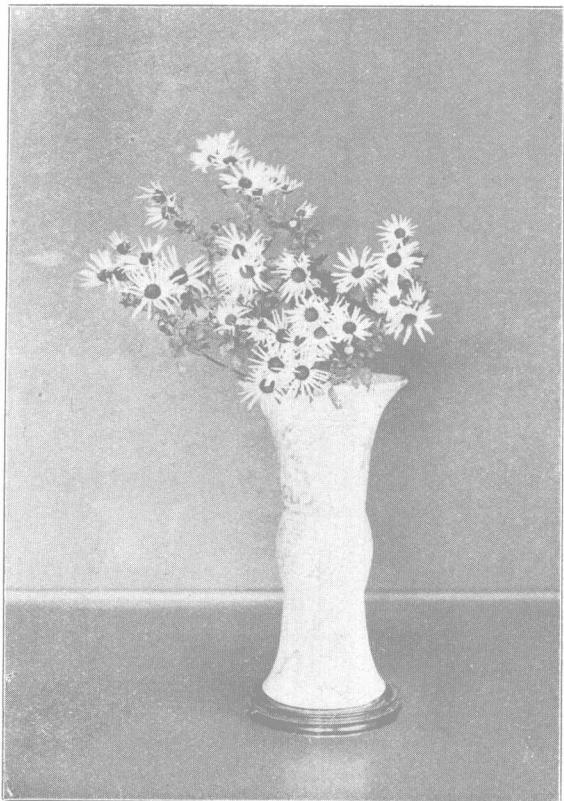
○



水仙と松の交ぜ盛りで、花器は黒塗の四方盆を用ひましたのであります。一月の床を飾る恰好の盛花だと思ひます。観賞點は中央正面の梅花と水仙で、正中が配景と云つた様な松が配子に盛つたのです。作意なき所に一種新年らしい清新の氣配を見せた意です。色も黄蘿白蘿の梅に黄蘿白蘿の水仙それへ蒼綠の松の一枝を配つたのですから調和は極めて好いです。



山百合：俗に鶴の  
 首といふ野趣のある  
 百合に麥撫子を挿し  
 合せたので、加之も  
 その青白い苔なのが  
 たかしいのでありま  
 す。點々として可憐な  
 の紅い花は、あが  
 撫子の爲に着けた全  
 立つて來るので全體引  
 少ない方に傾いた  
 状態に入れられたので  
 一寸花溜といつた風  
 情花の見所がありま  
 す。  
 瓶に挿したのが此の  
 みどりの所でありま



單瓣の中輪菊を長短取り交ぜて四五本折り入れたのです、半開も蕾も交つては居るが殆んど全體満開と云つても可い位の盛りの花で、それが縦横に相交つて居る状は、一寸千輪咲を見るやうであつて、加之もそれよりは更に餘情があり奥があります、それは畢竟枝の長短と多少の疎密を作つた爲あります、花器は白磁鼓胴式で花はこの花器を得て一倍も二倍もその風情をへ來るのであります。



まらは葉の照つた二枝  
櫻の葉の照つた二枝  
に濱菊三輪、それへ  
梅もどきな一枝添へ  
たので、晚秋初冬の  
寂味を見せたので  
す、蜀錦の如うに櫻  
の葉の照つたのに眞  
紅の實を點じた柯枝  
の風雅な梅もどき、  
それを背景にしてクリ  
ツキリと白い濱菊を  
根元といふ位置に挿  
いたのですから、却  
却くに美し味もある  
花であります。

## 緒 言

雜草に交る閑花も、採て之を瓶裡に盛れば、脉々の情韻を見る蓋し挿法に規矩を用ひず、自然の情味を傷けざる時に於て然るを云ふ也。

投入花及盛花は、自然を宗とし、趣味を生命とす。仍ちその風趣幽遠且つ雅純にして、清新の氣迫り来るを覺ゆる所以なり。彼の柯枝を矯曲して、畸状を作り、草木の眞美を壞るが如きは恐くは花卉觀賞の主旨に副ふものに非ざるべし。

本書は投入花と盛花の眞諦を、最も簡明に知得せしむるの目的を以て著作せるものにして、編中予が年來の挿花を影寫せるものゝ中より、稍意に適ひたるものを集め、情味の了解の便に供

せり。然れどもとこれ無名の一野草のみ聊も世の金閣瑤臺を期するの意なし。只幸に江湖の君子が、この田情野趣に一瞥を賜ふの榮に逢はゞ。老生の欣快何物か之に過ぎむ。

春

はる

をまつ心もなしと雪の中に

老木の梅はかくれてや咲く

これ香川景樹翁の詠なり。何となく老生の云はんとする所を歌へるが如し。仍ちこれを緒言の終に記す。

大正七年首夏

長春閣主正一翁識

# 解圖 投入花盛花十二ヶ月

生花觀賞の變遷(花綱の昔より現代まで)

- 性情の流露 ..... 一  
流儀花の系統自慢 ..... 二  
神佛の手向 ..... 三  
池坊の立華と生花 ..... 七

- 林泉式の瓶花 ..... 三  
自然趣味の瓶花再興の兆 ..... 五  
各流の生花 ..... 五  
茶人花 ..... 八  
文人花 ..... 三  
投入瓶花 ..... 四

- 交せ挿及び交せ盛 ..... 一  
一輪挿 ..... 一  
床の間の花 ..... 三  
棚上の花 ..... 五  
机上の花 ..... 五  
燐爐上の花 ..... 五  
座右の花 ..... 一  
移徒及び新築祝の花 ..... 一  
婚禮の花 ..... 一  
餞別の花 ..... 一

金銀婚式及び賀筵の花 ..... 盛

挿方及び盛方に就て

投入花

盛花

挿方及び盛方に就て ..... 盛

投入花と盛花の趣味

投入花と盛花は趣味を生命とす ..... 五

天空海濶の量

天空海濶の量 ..... 五

唯趣味を寫せ

唯趣味を寫せ ..... 五

満足を求むる勿れ

満足を求むる勿れ ..... 五

姿に定形なし

姿に定形なし ..... 三

眞草行の區別は無意味なり

眞草行の區別は無意味なり ..... 三

姿は枝次第

姿は枝次第 ..... 二

鷹揚で沈着

鷹揚で沈着 ..... 二

技巧を嫌ふ

技巧を嫌ふ ..... 一

今一枝といふ處に止めよ	102
趣味と枝數とは反比例の場合あり	102
美化	九五
實景の模作は俗意なり	六
夜の花	101
名花	101
庭前の花は花瓶に挿すべからず	102
扇上の梅花一枝	103
投入花及び盛り花の一ヶ年	103
春季の瓶花及び盛り花は如何にするか	10
夏季の瓶花及び盛り花は如何にするか	11
秋季の瓶花及び盛り花は如何にするか	11
冬季の瓶花及び盛り花は如何にするか	11
花器の見立てやう	102
花器と花との取合せ	102
床に花を二瓶を置くこと	102
野花と培養花	102
一花一葉	102
時ならぬ花	102
花臺	102

# 花曆と挿方と盛り方

## 一月

(花曆) 梅。松。福壽草。紫金牛。齒朶。柳。節分草。雪割草。竹及び笹。  
茱砂苔。寒葵。春の七種。臘梅。盛花に配ふ果物及蔬菜

### (挿方と盛り方)

梅の挿方とその盛り方 ..... 二三

松の挿方とその盛り方 ..... 二三

福壽草の挿方と盛り方 ..... 二三

茱砂苔の挿方と盛り方 ..... 二四

齒朶の挿方と盛り方 ..... 二四

柳の挿方と盛り方 ..... 二五

節分草の挿方と盛り方 ..... 二五

雪割草の盛り方 ..... 二五

竹及び笹の挿方と盛り方 ..... 二五

(花曆) 菜の花。蕗の薹。御形。春蘭。金雲花。山菜萸。木蘭。バージン。辛夷。沈丁花。クローカス。蒲公英。ベコニヤ。ナーシツサス。ブリム。ラッパ花。盛花に配ふ果物と蔬菜

## 二月

### (挿方と盛り方)

菜の花の挿方と盛り方 ..... 二七

蕗の薹の挿方と盛り方 ..... 二七

御形の挿方と盛り方 ..... 二八

山菜萸の挿方と盛り方 ..... 二九

木蘭の挿方と盛り方 ······ 三

春蘭の挿方と盛り方 ······ 一九

金盞花の挿方と盛り方 ······ 一四

パンジーの挿方と盛り方 ······ 三

辛夷の挿方と盛り方 ······ 一五

### 三月

(花曆)

梨花。木通。阿彌傘。山吹。桃花。海棠。アネモネ。椿。風信子。ア  
リムローブ。キナンギユラス。碇草。薇。睡菜。車軸草。熊谷草。早 ······ 一五

薺。蒿菜花。金絲梅。櫻。木瓜。紫雲英。迎春梅。盛花に配ふ果物と蔬菜

#### (挿方と盛り方)

梨花の挿方と盛り方 ······ 二九

木通の挿方と盛り方 ······ 二九

阿彌傘の挿方と盛り方 ······ 二九

熊谷草の挿方と盛り方 ······ 二九

山吹の挿方と盛り方 ······ 二九

桃の挿方と盛り方 ······ 二九

金絲梅の挿方と盛り方 ······ 二九

海棠の挿方と盛り方 ······ 二五

アネモネの挿方と盛り方 ······ 二五

椿の挿方と盛り方 ······ 二五

紫雲英の盛り方 ······ 二五

櫻の挿方と盛り方 ······ 二五

迎春花の挿方と盛り方 ······ 二五

金絲梅の挿方と盛り方 ······ 二五

## 四月

(花曆)

牡丹。芍薬。杜若。薔薇。春透百合。チューリップ。木瓜。匂ひ董。  
 櫻草。連翹。化榆。華蔓。盤草。九輪草。小田巻。鷺苔。金櫻笑。春  
 龍膽。水巴軒。萱草。小青草。羅生門。藤。勿忘草。雪柳。ノーゼン  
 パレ。盛花に配ふ果物と蔬菜。

## (播方と盛り方)

藤の挿方と盛り方 ..... 二六

牡丹の挿方と盛り方 ..... 二七

芍薬の挿方と盛り方 ..... 二八

燕子花の挿方と盛り方 ..... 二九

木瓜の挿方と盛り方 ..... 三〇

薔薇の挿方と盛り方 ..... 三一

春透百合の挿方と盛り方 ..... 三二

チューリップの挿方と盛り方 ..... 三三

匂ひすみれの挿方と盛り方 ..... 三四

櫻草の挿方と盛り方 ..... 三五

躑躅。線繡花。繡毬花。花葱。胡蝶花。紫羅傘。鐵線花。卯の花。誠

五月  
 (花曆)  
 豆。知風草。蘭蓀。玫瑰花。細辛。覆盆子。蜀葵。雛げし。虫取撫子。  
 ひふん草。美女櫻。瀆ふんどう。ロベリア。抹莉花。盛花に配ふ果物  
 及び蔬菜

## 五月

## (播方と盛り方)

躑躅の挿方と盛り方 ..... 五一

線繡花の挿方と盛り方 ..... 五二

繡球花の挿方と盛り方 ······ 一五

花葱の挿方と盛り方 ······ 一四

蝴蝶花の挿方と盛り方 ······ 一三

紫羅傘の挿方と盛り方 ······ 一二

鐵線花の挿方と盛り方 ······ 一七

卯の花の挿方と盛り方 ······ 一九

蠶豆の挿方と盛り方 ······ 二〇

知風草の挿方と盛り方 ······ 二一

ノーゼンバレンの挿方と盛り方 ······ 二二

勿忘草の挿方 ······ 二三

抹莉花の挿方と盛り方 ······ 二四

六月

(花曆)

鼓子花。菩提樹。撫子。茶蘭。合歡木。釣鐘蔓。釣鐘草。花菖蒲。薊。

演萬年青。虎の尾。布袋草。白頭翁。岡河骨。忍冬。百合。矢車草。 ······ 二〇七

金鷄菊。ダーリヤ。スキートビー。フクシヤ。素馨花。花橘。菱。紫

陽花。盛花に配ふ果物及び蔬菜

(挿方と盛り方)

石楠花の挿方 ······ 二二

化榆の挿方と盛り方 ······ 二三

華蔓の挿方 ······ 二三

小田卷の挿方 ······ 二三

石斛の盛り方 ······ 二三

野薔薇の挿方と盛り方 ······ 二四

## 目

次

富貴草の挿方と盛り方 ······ 三四

瞿粟の挿方と盛り方 ······ 三五

花橘の挿方と盛り方 ······ 三七

柘榴の挿方と盛り方 ······ 三八

鼓子花の挿方と盛り方 ······ 三九

天女花の挿方 ······ 三三

撫子の挿方 ······ 三四

七  
月

(花曆) 牛糞花。夏菊。ペチュニア。朝鮮草。藝絶天。玉簪花。睡蓮。葱草。

蓮花。くじやく草。金魚草。麒麟草。貝細工。盛花に配ふ果物及び蔬

菜

(挿方と盛り方)

鶯草。狹竹桃。風蘭。月見草。鹿の子百合。檀特。凌霄花。女郎花。

狹竹桃の挿方と盛り方 ······ 一二

風蘭の挿方と盛り方 ······ 一四

菱の挿方と盛り方 ······ 二二

茶蘭の挿方と盛り方 ······ 二三

合歡木の挿方と盛り方 ······ 二四

百合の挿方と盛り方 ······ 二五

ダーリアの挿方と盛り方 ······ 二六

紫陽花の挿方と盛り方 ······ 二七

花菖蒲の挿方と盛り方 ······ 二八

月見草の挿方と盛り方 ······ 二九

鹿の子百合の挿方と盛り方 ······ 三〇

檀特花の挿方と盛り方 ······ 三一

月見草の挿方と盛り方 ······ 三二

鹿の子百合の挿方と盛り方 ······ 三三

凌宵花の挿方と盛り方 ······ 三九

女郎花の挿方と盛り方 ······ 三五

牽牛花の挿方と盛り方 ······ 三一

夏菊の挿方と盛り方 ······ 三三

ペチュニヤの挿方と盛り方 ······ 二四

## 八月

〔花曆〕

紫薇花。藤袴。萩の花。旋覆花。千日紅。月草。夜會草。木槿。フロ

ックス。夕化粧。萩。鼠尾草。弟切草。紅蓼。桔梗。錦荔枝。葛の花。

パスレーン。翠菊。盛花に配ふ果物及び蔬菜

### (挿方と盛り方)

紫薇花の挿方と盛り方 ······ 三〇

藤袴の挿方と盛り方 ······ 三一

萩の挿方と盛り方 ······ 三二

旋覆花の挿方と盛り方 ······ 三三

千日紅の挿方と盛り方 ······ 三四

月草(露草)の挿方と盛り方 ······ 三五

夜會草の挿方と盛り方 ······ 三六

葛花の挿方と盛り方 ······ 三七

木槿の挿方と盛り方 ······ 三九

フロックスの挿方と盛り方 ······ 三九

夕化粧の挿方と盛り方 ······ 三九

萩の挿方と盛り方 ······ 三九

紅蓼の挿方と盛り方 ······ 三九

桔梗の挿方と盛り方 ······ 三九